

令和 6 年度焼津内港地区周辺活性化方策検討基礎調査業務委託に係る
公募型プロポーザルの選定結果について

令和 6 年度焼津内港地区周辺活性化方策検討基礎調査業務委託に係る公募型
プロポーザル審査委員会により、企画提案書等の内容について評価基準に基づき
審査した結果、下記のとおり最優秀提案者（優先交渉権者）を選定しましたので
公表します。

記

1 委託業務名

令和 6 年度焼津内港地区周辺活性化方策検討基礎調査業務委託

2 公告日

令和 6 年 6 月 6 日（木）

3 公募期間

令和 6 年 6 月 6 日（木）から令和 6 年 6 月 18 日（火）

※企画提案書等の提出期限：令和 6 年 7 月 8 日（月）

4 選定結果

(1) 審査委員：7 人

委員長	都市政策部長
副委員長	都市整備課長
委員	建設部市長戦略監
委員	経済部調整監
委員	政策企画課長
委員	漁港振興課長
委員	商工観光課長

(2) 審査委員会開催日

令和 6 年 7 月 16 日（火）

(3) 評価基準及び配点

審査項目	内容、評価の視点	配点
① 業務実績	・平成 26 年 4 月 1 日から本公告日までの間に、国又は地方公共団体において、元請として受注し完了した次のいずれかの業務実績（各最大 5 件）	15

	① 漁港や港湾における地域活性化の検討調査・計画策定に関する業務 ② 漁港や港湾における公共空間の利活用可能性調査・計画策定に関する業務 ③ 民間事業者へのヒアリング調査を実施し、民間事業として事業実現に至った 又は 繋がっている事例	
② 配置技術者の実績	・配置技術者が、次のいずれかの業務に携わり完了した実績（各最大5件） ① 漁港や港湾における地域活性化の検討調査・計画策定に関する業務 ② 漁港や港湾における公共空間の利活用可能性調査・計画策定に関する業務 ③ 民間事業者へのヒアリング調査を実施し、民間事業として事業実現に至った 又は 繋がっている事例	20
③ 業務見積書	・事業内容から見た見積額は妥当か	15
④ 実施方針	・本業務の目的を理解し、地域の実情を把握した方針が示されているか ・本業務の理解度が高く、目的や内容を具現化するための創意工夫のある考え方が示されているか	15
⑤ 実施体制	・本業務の円滑な遂行に必要な知識・経験等を有する配置体制となっているか ・本市の要望等に迅速・柔軟に対応できる妥当な体制となっているか	10
⑥ 現状把握・評価	・検討区域における現状や課題等が示されているか ・検討区域における開発・活性化の可能性に対する提案が示されているか	15
⑦ 市場調査	・民間事業者等の意向を把握し、本業務の目的等を具現化するため、ヒアリング調査の手法・内容やヒアリング先の業種・業者数が示されているか ・民間事業者等による事業提案の可能性を高めるため、独自の方策やアイデアが示されているか	40
⑧ 利活用方針	・市民等の意見を反映させるため、ワークショップの対象者や内容等が示されているか ・検討及び周辺区域に求められる都市機能や施設規模、動線計画等について、想定される方策や利活用方針、将来像が示されているか ・上記までの内容を踏まえ、実現に向けた最適なアプローチ手	50

	法や事業全体スケジュールが示されているか(仕様書 15 業務内容 (4) ウの想定スケジュールに限らない)	
⑨ 連携方針	・上位・関連計画に位置づけられた周辺エリアとの連携方針や将来像、実現に向けた考え方が示されているか	10
⑩ 運営支援	・今後の検討に向け、将来像の共有に最適な資料が示されているか(成果として作成・提供が可能か) ・各種会議の運営手法が示されているか	20
⑪ 業務工程	・本業務の円滑な遂行に向け、妥当性が高く、実現可能な工程となっているとともに、具体的な進め方が示されているか(効率的な業務遂行のための工程上のポイントや留意点が示されているか)	10
合計		220

(4) 評価結果(総合得点:220 点満点)

ア 最優秀提案者(優先交渉権者)

A 者:日本工営都市空間株式会社(134 点)

5 最優秀提案者(優先交渉権者)選定

審査委員会による審査の結果、A 者:日本工営都市空間株式会社を最優秀提案者(優先交渉権者)に選定した。